

伊深 まちづくり協議会 だより

第 67 号

2019 (H31) 年 3 月 1 日 発行

伊深まち協 HP アドレス : <http://ibukamachi.com>

- ・特集 「凧あげ大会 in 伊深」を開催 …… 1
- ・伊深ごはん研 「伝統と新しいもの」に挑戦… 2
- ・トピックス 伊小で「ふるさと学習」成果… 2
- ・協議会の動き …… 3~4
- ・名所・旧跡シリーズ (25) 関也の道標 …… 4



「第 4 回 伊深の沖で凧をあげよう 凧あげ大会 in 伊深」を開催

— 形・色もさまざまな凧 伊深沖の空に舞う —



“電柱のない伊深の田んぼで思いっきり凧をあげよう”と、「凧あげ大会 in 伊深」を開催しました。4 年目となる今年は「作る」ことより「あげて楽しむ」ことに絞って開催したところ、地元伊深からはもとより、市内外、なかには新聞を見て多治見市からかけつけたという家族も含め 30 人以上の参加がありました。凧の形もさまざまで、市販の「クジラ凧」や「たこ凧」のほか、自作の大凧を持ち込んだり、“ビュンビュン”と音の鳴る凧をひととき高くあげて見学者を驚かせる凧あげのベテランの姿も見られました。



当日は天気・風とも絶好の「凧あげ日和」となり、ときおり吹きつける強い風に凧をのせようと急いで糸を繰り出したり、田んぼのなかで駆け出す姿があちこちで見られました。

約 2 時間ほど楽しんだあと、地元産の材料を使った“ぜんざい”のふるまいがあり、参加者たちは冷えた体を温めるように碗を傾けていました。また、参加者全員に参加賞として伊深シールを差し上げたほか、ユニークな凧を持ち込んで楽しんでいただいた家族ごとに伊深産のお米などささやかな賞をプレゼント、思わぬ賞に笑みを浮かべる姿が見られました。

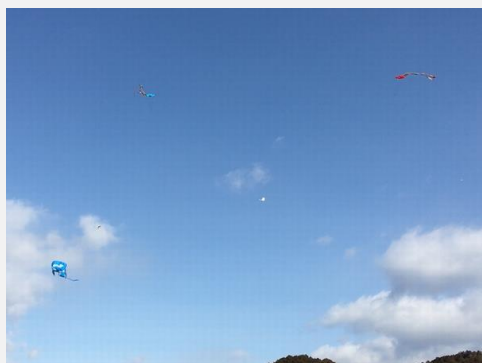


今回のようすは CC ネットで以下の日程で放送されます。ぜひご覧ください。

○番組名 「ウィークリーみのかも」

○放送日 平成 31 年 3 月 11 日 (月) ~ 3 月 17 日 (日)

まち協HPに動画・記事あり ▶

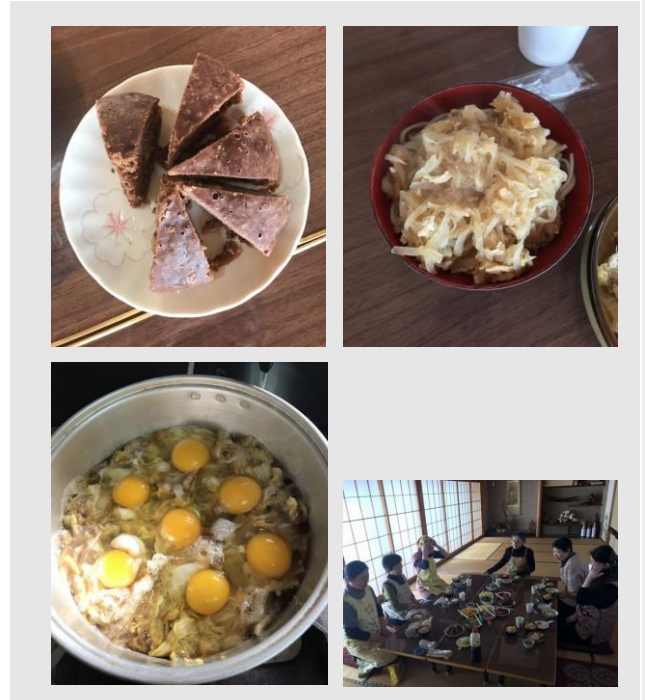


伊深ごはん研究会 / 2.5 (火)、伝統と新しいものに挑戦

伊深ごはん研究会（井上美恵子代表）は、2.5（火）、別所公民館で2月の調理活動（第8回）を行いました。今回参加したのは同会の会員7人で、メインの「チョコレートブラウニー」「つきつき大根そば」のほか、「白菜の巣ごもり卵」「大豆とキャベツの和え物」などを作りました。

「チョコレートブラウニー」はバレンタインデーが近いので、簡単に作れるようにと市販のホットケーキミックスを使い炊飯器で焼くという現代的な方法で行いました。また、「つきつき大根そば」は伊深のある地域で昔、講があったときに食べられたそうで、大量のつき大根と油揚げを煮てそばにのせる方法で、とても優しい味でした。

参加者からは『「巣ごもり卵」や「つきつき大根そばの具」の作り方はほかにも応用がきくので基本として覚えておきたいね』などの感想が聞かれました。



[まち協HPに記事あり](#)

トピックス

まちの話題から

2.2 (土)、伊深小で「ふるさと学習発表会」が開かれました —— あいさつマンデーも

2.2（土）、伊深小学校で「スペシャルあいさつマンデー」、「ふれあいタイム」に続き、「ふるさと学習発表会」が開かれました。

これは、今年度の重点活動のひとつとして進められてきた「ふるさと教育」の成果発表として初めて行われたもので、特に3~6年は総合学習のなかで学年ごとに設定したテーマに沿い、年間を通じて地域の自然や歴史、伝統、文化などについて学習を深めてきた成果を児童たちがタブレット端末などを使って発表しました。

資料は写真や図表を効果的に取り入れ、学年によってはTVの人気番組にならった構成で楽しく見せる工夫も凝らされていました。

このふるさと教育についてはまち協役員も昨年10月の座談会以降、伊深の郷土料理「かもちおはぎ」づくりの体験や伊深のパンフレットづくりのほか、えげんさんに縁のある場所を一緒に巡りながら当時のえげんさんと里人のかかわり、京へ上られたときの状況などについて説明する「えげんさん巡り」などを通じて協力しました。

また、「スペシャルあいさつマンデー」では同小周辺に設置されたチェックポイント4か所をめぐり、あい



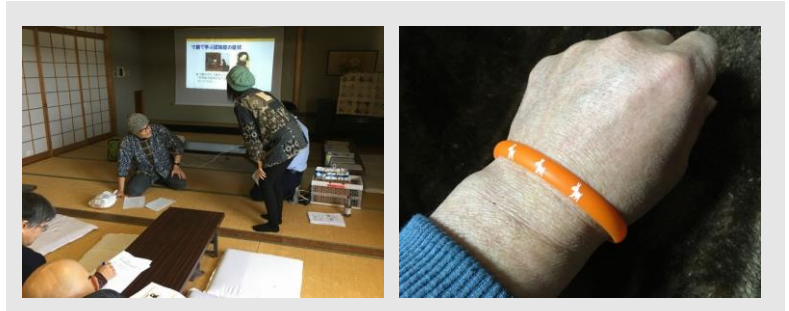
さつや自分の目標を大きな声で話したあとクイズを楽しむ「あいさつウォークラリー」を行ったほか、「ふれあいタイム」では参加した保護者や地域の方と児童たちが教室で「かるた取り」などを楽しみました。

まち協HPに記事あり ▶

2.23 (土)、「認知症を知ろう」講習会が開かれました —— 寸劇で接し方を考えながら

2.23 (土)、交流センターで市中部長寿支援センター主催による「認知症を知ろう」講習会が開かれ、10名の参加がありました。

これは、3.1 (金) に予定されている「行方不明高齢者探索訓練」を前に「認知症」への理解を深めてもらおうと行われたもので、伊深では高齢化率が 34.36%と市内で 2 番目に高くなっている状況や認知症の症状、認知症の人との接し方などを学びました。特に、接し方では、『驚かせない』『急がせない』『自尊心を傷つけない』の 3 つの「ない」に心がけてください、とのアドバイスあり参加者たちは全員うなずいていました。最後に参加者に認知症サポーターの印としてオレンジリングが贈られました。



協議会の動き

定例会などのようす

2.17 (日)、「小さな手助け」先進地：岐阜市社協芥見東支部を視察

当協議会は 2.17 (日)、「小さな手助け」活動を先進的に実施している岐阜市社協芥見東支部への視察研修を実施し、まち協委員のほか、「たすけ隊」連絡員・協力員の方々を含め 20 人の参加がありました。

同支部は岐阜市のなかでも急速に高齢化が進む郊外型団地の中にあって、いち早くこうした支援活動の必要性を認識され、すでに 7 年間の活動実績があることから、これから取り組もうとする当方からのいくつかの質問に、的確で実務的なアドバイスをいただき、有意義な研修会となりました。

まち協HPに記事あり ▶



3.1 (金)、行方不明高齢者探索訓練を行います

当協議会は今後増えるであろう認知症高齢者への対応力を高めるため、3.1 (金)、市中部長寿支援センター等と共催で行方不明高齢者探索訓練を実施します。当日は伊深小付近を徘徊する高齢者に対応することを通じて、いざというとき地域としていかに適切に対応するかを学びます。もし「行方不明高齢者モデル」に会われた場合は「市中部長寿支援センター」へ「高齢者の特徴やようす等」をご一報ください。



- と き : **3月1日(金)** 14:00~15:30
- と ころ : 伊深小学校前から南岡~関也付近
- 連絡先 : 市中部長寿支援センター 49-8591

※当日、「行方不明高齢者モデル」は『訓練中』のゼッケンを着用しています。

2.20 (水) 2月定例会のあらまし

●報告 :

1. 2.10 凧あげ大会について

これまでとやや違う層の参加があった。

2. 2.17 町外研修会(岐阜市社協芥見東支部)について

当地でも始まったばかりの「小さな手助け」を進めるにあたり、多くの参考になることが聞けた有意義な研修会となった。

●協議 :

1. 3.1 行方不明高齢者探索訓練について
実施に向け段取りの確認を行った。

2. 3.19 まちカツについて

3.6 役員会にて発表内容確認を行うこととした。

3. 2~3月広報予定について

3月のたより、HP内容について検討した。

●その他 :

まちカツ発表会 (まちづくり協議会活動報告会)

市内の各まちづくり協議会の活動状況を報告する“まちカツ”が今年も開かれます。まちづくり活動に関心のある方ならどなたでも参加できます。

- と き : **3月19日(火)** 19:00~21:00
- と ころ : 市生涯学習センター
- 参加資格 : どなたでも
- 内 容 : 山之上、三和、加茂野町、伊深、下米田の各まちづくり協議会の活動状況報告(発表順)



伊深の名所・旧跡 紹介シリーズ

第25回 関也の道標 (関也)

火の見やぐらの西約100mの大洞川沿いの三叉路にあり、伊深で最古の年代の入った道しるべだそうです。



標柱あり

「右かぶち 地蔵菩薩 明和八年(一七七七) 左つぼ七月」と刻まれています。「かぶち」は神渕、「つぼ」は津保のことを指しており、東西の交通の要であったと思われます。どなたかはわかりませんが花が飾ってありました。



伊深まちづくり協議会だより 第67号

2019. 3. 1発行

発行責任者 伊深まちづくり協議会 会長 小林 喜典

事務局: 美濃加茂市伊深町 909 伊深連絡所

電話 0574-29-1395 FAX 0574-29-0001

※ ご意見・お問い合わせはこちらまで

